

## Ⅱ-決算

82 以下のうち、月次決算の目的の組み合わせとして適切なものはどれか。

- A: 年度計画の売上高、営業費、純利益を目標とした進捗管理を行うこと  
B: 年度決算の利益を早期に予測し、よりよい決算対策をたてること  
C: 月々の帳簿の整理を確実に実施することにより、年次決算をより適切に行うこと

- a) A  
b) AとB  
c) AとBとC  
d) 全て正しくない

83 月次決算手続において、決算整理仕訳の計上漏れ・誤りのリスクに対するコントロールとして最も適切でないものは次のうちどれか。

- a) 仮払金、仮受金整理簿から振替予定が明確でないものを抽出し、処理状況の確認を行う  
b) 月次締切の手順について予めチェックリストを作成し、それに則って月次締切が実行されていることを確認する  
c) 特殊事情の影響額を関係部門のヒアリング等で把握し、差異分析を実施し、マネジメントへ提供する  
d) 共通費の配賦計算が基礎データから正しく算定されていることを確認する

84 一般に月次決算において作成される資料の組み合わせとして最も適切なものはどれか

- A: 部門別損益計算書 B: 貸借対照表 C: 会社法月次計算書類

- a) A  
b) AとB  
c) AとC  
d) A、B、C全て

8 月次業績管理 8.1 月次決算実施 正解: c

月次決算とは、事業年度末に行う法令による決算とは別に、主として経営管理に必要なかつ有効な情報を提供する目的を持って、毎月の営業成績や財政状態を明らかにするために行われる決算である。月次決算は、次の目的をもって行われる。

- ① 早期に経営の現状を把握して、迅速な対策をとること  
② 年度計画の売上高、営業費、純利益を目標とした進捗管理を行うこと  
③ 年度決算の利益を早期に予測し、よりよい決算対策をたてること  
④ 月々の帳簿の整理を確実に実施することにより、年次決算をより適切に行うこと

設問には上記4つのうち3つがそのまま記載されている。

したがって、正解は(c)となる。

8 月次業績管理 8.1 月次決算実施 正解: c

月次決算手続において決算整理仕訳の計上漏れ・計上内容の誤りなどといったリスクに対するコントロールとして、決算に際して特殊事情の影響額を関係部門へのヒアリング等で把握、年度計画や前年同期実績との差異分析を行った上で、マネジメントに報告することは、決算を進める上で非常に重要な取組みであるが、決算整理仕訳の計上漏れや計上内容の誤りといったリスクに対する手続き(コントロール)となるとは考えにくく、一方でそのほかの選択肢については、いずれもそうしたリスクを回避する手続きとして有効である。

したがって、正解は(c)となる。

8 月次業績管理 8.2 月次業績検証 正解: b

月次決算で作成される資料としては、一般に損益計算書や貸借対照表が基本となるが、業績管理のため部門別損益計算書や、売上高の月別推移表、資金繰り実績表などが作成される。会社法ではこれら月次決算作成書類に関する定めはない。

したがって、正解は(b)となる。